言語処理学会入会のご案内

近年, 言語処理に関する理論・アルゴリズム・システムの研究の重要性が高まってきています. わが国のこの分野の研究はすでに 30 年以上の歴史をもっており, 研究発表は急速に増加して来ています. 言語のもつ個別性と普遍性とを考慮する立場からの言語処理研究の重要性も増し, 言語学, 計算機科学の研究者が共通に議論する場も求められています. アメリカ, ヨーロッパ, アジア諸国においても同様な状況にあります. アメリカを中心として The Association for Computational Linguistics (ACL) があり, ヨーロッパには ACL の European Chapter が作られ, それぞれ活発な活動を行っています. このような状況に鑑み, 私たちは, わが国の言語処理の研究成果発表の場として, また国際的な研究交流の場として, 1994 年 4 月 1 日「言語処理学会」(The Association for Natural Language Processing (NLP)) を設立しました. そして, 密度の高い議論のできる場としての学会を形成するために, その活動対象範囲を以下のように定め, 目標を明確にすることといたしました.

- 音韻論, 形態論, 構文論, 意味論, 語用論, 記号論, 計量言語学, 計算言語学, 心理言語学, 対照言語学, 認知言語学, 社会言語学
- 計算辞書学, ターミノロジー, 電子化辞書, テキストデータベース, ドクメンテーション
- 言語処理アルゴリズム, 言語処理用ハードウェア・ソフトウェア, 解析・生成システム, 言語理解, 対話理解, 音声理解, 談話理解, 音声言語処理
- ワードプロセッサ, 機械翻訳, 情報検索, 対話システム, 自然言語インターフェース, ハイパーテキストなど

主な学会活動は次のとおりです.

(1) 優れた研究論文を集めた会誌「自然言語処理」を年 4 回発行する. 原則として, 日本語または英語の論文で, 頁数の制限は行わない.

(2) 年 1 回の口頭発表を中心とする大会を行う.

会誌「自然言語処理」を通じて学問的成果を論文の形で発表し, 日本の自然言語処理の成果を集約することを第一の目的といたします. したがって, 質の良い論文を多数定期的に出すことを重要と考え, 迅速な査読を行います. このような言語処理研究の活動の場を設けることにより, この分野の学問の発展, 応用技術の発展と普及, 国際的なレベルでの研究者・技術者・ユーザ相互間のコミュニケーションと人材の育成をはかる機関とすべく活動してまいります.

会員の種別と年会費は以下のとおりです.

(1)	正会員		8,000 円
(2)	学生会員 (ただし, 博士課程学生を含む.)		4,000 円
(3)	賛助会員	一口	50,000 円
(4)	定期購読会員		10,000 円

入会のお申し込みは, 裏表紙の言語処理学会事務局 (担当: 芦田百合子) にお問い合わせをお願い申し上げます.